

- 問1 14世紀の東アジアでは、中国で明が建国されて元が北方へ退き、朝鮮半島では高麗に代わって朝鮮国が建国されるなど、大きな社会の変化が起きました。この時期、日本や中国、朝鮮半島の沿岸部で「倭寇」の活動が活発化した主な要因として、当時の各国に共通していた背景を説明したものを選びなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 1. 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため | 2. 元が日本に侵攻した元寇の影響により、東アジアの制海権が完全に失われたため | 3. 各国で強力な中央集権体制が整い、対外進出が積極的に推奨されたため | 4. 各国が鎖国政策を採用したことで、正規の貿易ルートが完全に遮断されたため |
|---------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
- 問2 室町時代の社会と文化について述べた説明として、農民の自治組織の名称と、当時完成された芸能の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自治組織は「五人組」と呼ばれ、芸能では「人形浄瑠璃」が始まった。 | 2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。 | 3. 自治組織は「株仲間」と呼ばれ、芸能では「狂言」が武士の間で広まった。 | 4. 自治組織は「座」と呼ばれ、芸能では「歌舞伎」が流行した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
- 問3 1467年に京都で発生し、約11年にわたって続いた応仁の乱の背景と性質を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 室町幕府の将軍のあとつぎ争いで、有力な守護大名である細川氏と山名氏の対立が結びついた争い | 2. 足利義満が北山に金閣を建立した際、重い税を課せられた農民たちが各地で一斉に起こした土一揆 | 3. 聖武天皇が仏教の力で国を守ろうとして、全国に国分寺を建立したことに対する地方豪族の反乱 | 4. 江戸幕府が有力な大名を統制するために、武家諸法度を制定したことに反発して起きた争い |
|---|---|--|--|
- 問4 室町時代に発生した正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を主な攻撃対象とした理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 幕府から年貢の徴収を一任された代官が、これらの場所に常駐していたから | 2. これらの業者は高利貸しを営んでおり、借金の証文などが保管されていたから | 3. 武士が戦争のために蓄えていた武器や食糧が、すべて集積されていたから | 4. 一揆を主導した国人たちが、新しい政治の拠点として利用しようとしたから |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問5 鎌倉時代から室町時代にかけて、毎月決められた日に開催された「定期市」の開催回数が、月に3回（三斎市）から月に6回（六斎市）へと増加した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 特定の商人が「座」と呼ばれる組合を結成し、幕府や寺社に税を納めることで販売の独占権を得たため | 2. 交通の要所に物資の保管や運送を専門に行う「問丸」が登場し、遠隔地との取引を仲介するようになったため | 3. 戦国大名が市場の税を免除する政策を行い、座の特権を廃止して誰もが自由に商売を行えるようにしたため | 4. 生産力の向上によって余剰産品が増え、商業が活発化するとともに、貨幣が民衆の生活にまで広く浸透したため |
|---|--|---|---|
- 問6 京都の自治の歴史に関する記述の中で、室町時代に活躍した町衆の活動について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 保元の乱などの戦乱を避けるため、有力な寺院の門前に集まって寺内町を形成した。 | 2. 幕府から営業の独占権を認められた特権的な組合である株仲間を組織し、流通を支配した。 | 3. 応仁の乱によって中断していた祇園祭を復興させ、自らの手で都市の自治を担った。 | 4. 地侍や農民を中心として寄り合いを開き、村の掟を定めて団結する惣村を形成した。 |
|---|--|---|---|
- 問7 1333年に鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇によって始められた天皇中心の政治体制を何と呼びますか。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|---------|---------|
| 1. 建武の新政 | 2. 院政 | 3. 承久の乱 | 4. 執権政治 |
|----------|-------|---------|---------|
- 問8 応仁の乱ののち、戦災によって荒廃した京都において、自分たちの力で都市を復興させ、自治組織を形成して治安維持や祭礼の運営にあたった有力な商工業者の集団を何と呼びますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|-------|--------|
| 1. 京都所司代 | 2. 庄屋 | 3. 町衆 | 4. 株仲間 |
|----------|-------|-------|--------|
- 問9 室町時代に、商工業者たちが自らの利益を守るために結成した「座」と呼ばれる同業者団体について、その活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 高山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 公家や寺社などの権力者に税を納めることで、商品の販売や製造を独占する権利を得ていた。 | 2. 問屋が農民に道具や原料を貸し出し、自宅で製品を作らせてから買い取る仕組みを運営していた。 | 3. 律令に基づいて新しい貨幣を鋳造し、全国の市場で流通させる特権を持っていた。 | 4. 幕府から領地の管理権を与えられ、周辺の農村から年貢を徴収する役割を担っていた。 |
|---|---|--|--|
- 問10 室町時代には農業技術が大きく進歩し、土地の生産力が高まりました。この時代に西日本を中心に全国へ広まった、同じ耕地で1年間に米と麦を交互に栽培する農法と、当時普及した肥料の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|--------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 三毛作と、牛馬の糞尿を用いた肥料 | 2. 輪作と、化学的な成分を含む肥料 | 3. 二毛作と、油かすや干鰯などの購入肥料 | 4. 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料 |
|---------------------|--------------------|-----------------------|----------------------|
- 問11 室町時代に栄えた「北山文化」と「東山文化」の比較について、東山文化を代表する銀閣（慈照寺）の背景や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 足利義政が東山に建てた銀閣は、書院造を取り入れた簡素な造りで、武士や禅僧の好みを反映した深みのある美しさの特徴とする。 | 2. 足利義政が東山に建てた銀閣は、中国の唐の文化を強く受け、広大な池の周りに華やかな寝殿造を配置したことを特徴とする。 | 3. 足利尊氏が建立した銀閣は、平安時代の浄土信仰を背景としており、極楽浄土の様子を建築で表現したことを特徴とする。 | 4. 足利義満が北山に建てた銀閣は、金箔をふんだんに使い、公家文化と武家文化を融合させた豪華な美しさの特徴とする。 |
|--|--|--|---|
- 問12 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと | 2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと | 3. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと | 4. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため	14世紀の東アジア諸国は、いずれも政権の交代や内乱の最中にありました。日本では鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱へと続く混乱期にあり、中国では元に代わって明が建国され、朝鮮半島でも高麗から朝鮮国への王朝交代が起きていました。このように各国で国内の情勢が不安定であったため、沿岸部での組織的な海賊行為である倭寇を抑え込む公的な力が弱まり、活動の拡大を許すことにつながりました。
問2	答え 2 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。	室町時代、農民たちは「惣」を結成して村を運営し、領主に対して団結して交渉を行うようになりました。文化面では、観阿弥・世阿弥の親子によって「能」が大成され、幕府の保護を受けながら発展しました。「座」は商工業者の組合であり、「歌舞伎」「人形浄瑠璃」は江戸時代に開花した文化です。また「五人組」や「株仲間」も江戸時代の制度や組織です。
問3	答え 1 室町幕府の将軍のあとつぎ争いに、有力な守護大名である細川氏と山名氏の対立が結びついた争い	8代将軍足利義政のあとつぎ問題をきっかけに、幕府の権力を握ろうとする有力な守護大名の細川勝元（東軍）と山名宗全（西軍）が激しく対立したことで乱が始まりました。この戦いは京都を焼け野原にただけでなく、幕府の権威を失墜させ、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まる戦国時代の幕開けとなりました。
問4	答え 2 これらの業者は高利貸しを営んでおり、借金の証文などが保管されていたから	室町時代の酒屋や土倉は、単に酒の製造や荷物の保管を行うだけでなく、幕府の保護を受けて高い利息で金を貸し出す金融業者の役割を果たしていました。借金に苦しむ農民たちは、自分たちの債務を証明する書類（証文）を破棄させたり、質に入れた品物を実力で行使して取り返したりするために、これらの場所を襲撃しました。こうした行動の背景には、社会の不正を正し、徳のある政治を求める「徳政」の考え方がありました。
問5	答え 4 生産力の向上によって余剰産品が増え、商業が活発化するとともに、貨幣が民衆の生活にまで広く浸透したため	中世の日本では、農業技術の向上によって農作物の収穫量が増え、それを売買する商業が発展しました。当時の市の様子を描いた資料や民衆の生活を記した碑文からも、宋銭や明銭といった貨幣が取引の手段として一般的に使われていたことが分かっています。このような経済の活性化と貨幣経済の広がりが、定期市の開催頻度を押し上げる要因となりました。
問6	答え 3 応仁の乱によって中断していた祇園祭を復興させ、自らの手で都市の自治を担った。	守護大名が対立した応仁の乱により、京都の市街地は大きな被害を受け、伝統的な祭礼である祇園祭も中断を余儀なくされました。戦後、復興を主導した有力な商工業者（町衆）は、自らの経済力と組織力を背景に祇園祭を再興させ、京都の自治と文化を象徴する存在となりました。
問7	答え 1 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後醍醐天皇が、14世紀に京都で開始した政治です。武士の慣習を無視し、公家を優遇する天皇中心の政治を強引に進めたため、恩賞などで不満を持った武士たちの反発を招きました。この政治はわずか2年余りで崩壊し、その後の南北朝の動乱へとつながっていきます。
問8	答え 3 町衆	応仁の乱後の京都では、幕府の権威が衰える中で、富裕な商工業者たちが自衛や町の復興のために団結しました。彼らは「町衆」と呼ばれ、自分たちの町を自分たちで守るという強い自治の意識を持ち、中断されていた祇園祭を再興させるなど、京都の都市文化の担い手となりました。
問9	答え 1 公家や寺社などの権力者に税を納めることで、商品の販売や製造を独占する権利を得ていた。	室町時代の商工業者は、自分たちの営業を守るために「座」という団体を結成しました。彼らは本所（ほんじょ）と呼ばれる公家や寺社といった権力者に保護料として税を納める代わりに、関所の通行料（関銭）の免除や、特定の商品の独占販売権といった特権を得ていました。これにより、他の業者の参入を防ぎ、安定した利益を確保しようとしていました。
問10	答え 4 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料	室町時代には、灌漑施設の整備や品種改良が進んだことで、夏に米、冬に麦を作る二毛作が全国的に普及しました。また、生産量を増やすために、草木を焼いた「草木灰（そうもくはい）」や、草を土に埋めて腐らせた「刈敷（かりしき）」などの自然由来の肥料が広く使われるようになりました。江戸時代に一般的になる油かすなどの購入肥料とは区別が必要です。
問11	答え 1 足利義政が東山に建てた銀閣は、書院造を取り入れた簡素な造りで、武士や禅僧の好みを反映した深みのある美しさの特徴とする。	東山文化は8代将軍足利義政の時代に栄え、禅宗の精神に基づいた「簡素さ」や「静けさ」を尊ぶ文化です。義満が築いた華やかな「北山文化（金閣など）」に対し、義政の「東山文化」は書院造や茶の湯、生け花など、日本人の生活様式に深く根差す文化が育まれた点が大きな特徴です。
問12	答え 4 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。